

**2 目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員間で具体的支援の状況を参考にした勉強会等を行い、支援の質の向上に結び付けていくことが望まれる。	介護職員のみならず、責任者・ご家族様が身体拘束の弊害を正確に認識し共通理解して実践する。介護職員の主観的な判断でなくご利用者様・ご家族様・運営推進委員の皆様など第三者に判断して頂く。	ミーティングの祭に、身体拘束について勉強会を開き原因を追究し、共通認識を持ってチームケアを行う。更に、運営推進会議で身体拘束について勉強会の内容を議題にあげ、ご家族様・運営推進会議の皆様にご理解・ご意見を頂く。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。